



2006年2月22日

発行	相原まちづくり協議会
責任者	理事長 杉崎太吉
所在地	町田市相原町1241
電話	042(774)8705

堺市民センター

4月からテレビ電話を導入

町田市は市民サービスの充実を図るため、テレビ電話を堺市民センターと本庁業務担当課に設置して、光ファイバー通信回線で結びます。これにより、市民が本庁に行かなくても、業務担当課への相談や手続きの詳細な説明を受けることができます。当面は堺市民センターだけです。堺市民センターに来た市民がテレビ画面を通して、本庁担当職員と直接相談を行ったり、また制度内容や申請書類について画面を見ながら詳しく説明を受けることができます。効果は本庁に行かなくても堺市民センターで用事を済ませることができる。テレビ画面を通して本庁担当職員が直接対応することにより、信頼感が高まる。資料を映しながら詳しく説明をすることができる。お互いに相手の表情を見ながら話すことができるなどです。テレビ電話の施設が設置してある本庁の対象業務の担当課は、税務業務が税務部市民税課、資産税課、納税課、国民年金業務が市民部国保年金課、福祉業務（高齢者、障がい者）が、健康福祉部高齢者福祉課、障がい者福祉課です。運用結果によって、他の市民センターの設置や対象業務の拡大を図ることにしています。

4月から試行運行をします。

第8回まちづくり講演会が12月4日に堺市民センターで行われました。

テーマは「いきいきした相原まちづくり」です。講師は経済政策、都市計画が専門の経済学部教授です。黒川氏の講演内容は以下の通りです。

生き生きした街づくりにするために欲しいものは3つあります。第1は大学です。相原には法政大学をはじめ多くの大学があります。第2は総合病院です。確かに相原町にはありませんが、相原周辺には、よい病院が多くあります。八王子には東京医科大学メディカルセンター、東海大学病院、相模原市には協同病院、北里大学病院、国立病院、東芝病院など全国的にレベル高い病院があります。この地区は車で10分で行けば、充実した医療施設がある。この地区は境川と豊かな森にはぐくまれている。東京都のはずれですが、町田街道は新しい情報が行き交う場所になっています。第3は生活の施設である。

子どものためには多摩動物園があります。買い物では、相模原市や南大沢に新しい施設ができています。八王子のみなみのシティーが住宅として急増しています。町田市という行政区域だけでみるのではなく、隣の街と一緒に考えるべきです。

相原駅の半径5キロで円を描くと、35万人が住んでいます。半径10キロにすると、140万人です。広島市や仙台市よりも多くなります。この地区は人口が少なく、閉鎖されたところと思われがちですが、橋本も、小山も、みなみのシティーも猛烈の勢いで成長しています。こういう中での緑だから大事にしなければいけないし、境川も同様です。三鷹市、武蔵野市、調布市は人口が減少しています。しかし、八王子、相模原市、町田市は増えています。町田市は若い人口が増えています。橋本から大磯の海へ35キロです。道路が整備されれば、30分で行けます。

乗降客数ランキング駅では第一位が新宿駅ですが、橋本駅17万2千人で74番目。八王子駅より多く、この地区では町田駅に次いでいます。多摩センター駅は14万5千人です。相原駅2万千人で5年間にわたって減少しています。町田市は住居侵入など犯罪が多い、大気汚染も深刻で、これらは問題があります。

しかし、相原は駅あり、病院があり、大学があり、若い人もいる、緑と水があり、定住もあり、周辺に大きな開発もあります。大都市で、こんなに優れた自然環境のところはありません。何が困っていることがあるのか、と考えてしまいます。県境論としての相原は、商店、学校、病院、消防署、警察、上下水道など隣接地域で整備しています。近所にあるものは、お互いに相互乗り入れ、枠を取っ払うことを考える時代です。

相原駅の東と西の整備は必要です。大学の立場から見ると学生の溜まり場がどこかありませんか。学生がフリーに出入りできる場所です。この地区には67大学があり、30万人の学生がいます。それをどう活用するか、考えるべきです。まちづくりに対して、枠にとらわれずに取り組んで欲しい。みんなで街を考え、継続は力ですから、一つ一つのイベントを大事にすることです。誰にも頼れません。特に行政は貧乏の極でありますから、自ら取り組むことです。この街のシンボルになるものを、一つでも多く増やして下さい。

市政懇談会が10月21日に境市民センターでありました

大戸踏み切りの立体化と町田街道の歩道整備について

最優先路線という位置づけで東京都にお願いしていく
国道16号線から家政学院前交差点の新設道路について
 相当経費がかさむと予想されるので長いスパンで実現出来るよう努力する

千代銀行脇から南野の南北道路について

優先順位の高い路線ということから第3次事業計画の中にのせたい

消防器具置き場の移転について(消防団第五分団第五部)

毎年1器具置き場の設置実施しています状況をみて順番ですが来年の設定を計画している

大戸踏み切りからさきの公共下水道の計画について

23年度から25年度の3カ年で大戸の先まで完成させたい
定期バスの相原駅西口への乗り入れを空き地を利用して
暫定的に実現して頂きたい

交通管理者、バス会社、都道管理者、の協議が必要で難しいが1日も早く応えられるようにすすめる

相原駅周辺の区画整理事業について

地価が下がった現状で地権者の理解が得られるか一番問題としている関係者と十分話し合いをしながら対応していきたい

相原駅東口から町田街道の狭い道路について

この道路は都道で整備する予定はないとのことですが今後も都に整備をお願いしていく

相原中央公園周辺道路の拡幅整備について

なるべく早い時期に地元と話し合いの準備に入ります

多目的広場(その2・その3)も地元自主管理したい

多目的広場(その2)は自主管理をお願いしたい、(その3)は市の公園緑地課が管理したい

多目的広場(その2)の照明は消防団の練習等に必要なので計画とつり整備してほしい

現在の照明を使い必要なものを設置する、ただし電気料金は利用者負担をお願いしたい消防団の活動については別途考える、出来るだけ地元の意見を反映させる

今後の公園計画について

2003年から5カ年計画でスポーツ広場の位置づけで整備を進めている

アンケート調査の主な記述内容 多かった「活気ある商店街」 「バス運行の充実」

相原まちづくり協議会は昨年夏、全住民を対象にアン

ケート調査を実施し、その結果概要については、前回の「あいとぴあ」に掲載した通りです。同調査で住民の意見を記述形式で記入してもらいましたが、「バスの最終便を遅くまで運行して、さらに高尾駅までの延長」「小規模でよいから子どもたちが遊べる公園が欲しい」「高齢者も安心して歩ける散策道路が必要」「駅周辺に活気のある商店街を」など多くの意見がよせられました。これらの意見は今後の相原まちづくり協議会の活動の参考にさせていただきます。主なものは下記の通りです。

<バス関連>

バス利用者は年寄りが多いが、堺農協前、堺中、堺市民センター前など安心できる停留スペースを確保すべきだ。

相原は坂道が多いのでコミュニティバスを定期的に走らせて欲しい。

バスの本数を増やして最終を遅くするよう、署名運動を。

大戸で止まっているバスを高尾まで延長を。

<医療・病院>

医療施設が少ないので、総合病院を早く誘致して、子ども、老人を夜でも見ていただきたい。

周辺市の病院では時間外では町田市民という見えてくれないことがある。

子ども健康診察で町田市中心部まで行かなければならず、不便だ。

病院が遠く、歳をとってから相原で暮らすのに不安である。

八王子みなみの医療ビルのようなものが欲しい。

市で行う健康診断は相原地区でも診断できるように。

<下水道>

下水道を早く整備して欲しい。

通学路で下水道にふたがないところがある。早急に整備を。

相模原市の下水道を利用させてもらうことを検討すべきである。

<警察・防犯>

交番は防犯のパトロールの強化を。子どもが1人で歩ける街に。

外灯が少なく、夜間照明の充実を。

不審者情報、交通事故情報を掲載して地域の認識を高めるべきだ。

<交通・駅>

町田街道を利用したモノレールを。

駅西口広場に木を植えて、相原の玄関にふさわしい、

気持ちが良いと思える緑豊かな駅前にして欲しい。

大戸踏切の立体化について、何が問題か、整理して、いつまでに着工できるか、具体的計画を作成して前進する方策を考えるべきだ。

老人の健康のためのウォーキングの遊歩道を。

駅前に史跡、散策絵図、見所などの案内板が欲しい。

町田街道の拡幅整備を。自転車はどこを走れば良いのか。子どもを見てヒヤヒヤする。

相原駅東口の道路拡幅を。

歩道が狭すぎる。早急に拡幅すべきだ。

<公園・施設>

子どもが安心して外で遊べる施設を。

多目的広場の中央公園はスポーツだけでなく、緑を楽しむ広場として自由に休息できるように。

スポーツ広場は有料でなく、子どもたちが遊べる公園に。

公園までの道幅が狭く歩行者安全対策を。

年寄りが遠慮なく遊べる施設を。

<行政>

緑は相原住民のものだけでなく、広く市民のものであり、緑保全是行政や一般市民の協力を求める必要がある。堺市民センターでの教養講座を増やして欲しい。

近隣地域の躍進が目立ちすぎ、行政の公平感が理解できる街づくりを。

市は相原の開発を置き去りにしないで欲しい。

相模原市との市町村合併を考えよ。

相原は自然豊かな街であり、これ以上の開発はいらない。

<商店・商店街>

駅前に、日常生活にこと欠かない、活気ある商店街を。

駅周辺は建築基準を緩和して高層化住宅を建築すべきだ。

学生が多いのに、利用する施設がない。学生と地域の人が一同に会える施設を。

魅力ある商店づくりを考えて欲しい。

高齢者や1人暮らしの人の買い物が便利になるような街に。

ハロンを使用したエアゾール式簡易消火具は「天ぷら油火災」に有効ではありません

天ぷら油は、油温が約360℃になると発火します。その後、急激に油温が上昇し、約400℃になるとハロンタイプのエアゾール式簡易消火具では、ひとたび消火

したように見えてもすぐに再燃し、消火に失敗してしまう可能性が極めて大きいのです。

これは、ハロンでは燃焼物を冷却する効果を持たないため、油温を下げることができず、ハロンを放射しきってしまうと再びすぐに発火してしまうことによるものです。なお、強化液タイプのエアゾール式簡易消火具を使用すれば冷却効果を持つため、上昇した油温も発火温度以下に下げることができることから、消火の開始時期が多少遅れてもほぼ確実に再燃することなく消火することができます

ハロンは、高絶縁性、低毒性、高浸透性、低汚損性等の利点を有する優れた消火剤ですが、フロンと同様にオゾン層を破壊する性質があることから、オゾン層保護のためのウィーン条約に基づき、みだりな放出の防止や改修・再利用の推進などについて国際的な取り組みがなされており、我が国においても、1994年以降ハロンの生産等を全廃し、ハロンバンクによる回収・再利用、他の消火剤等に代替できない不可欠な分野以外への新規設置抑制などの取り組みがなされています。

強化液 とは カリウム、ナトリウムなどのアルカリ金属塩類等の水溶液であり、水系であるため浸透性が高く、火災に対して冷却・窒息・抑制の作用があります。

エアゾール式簡易消火具 とは 家庭内で発生した比較的初期段階での小火災の消火を想定した簡易消火具であり、くずかご、石油ストーブ、カーテン、天ぷら油等の火災に有効となるよう、薬剤の量、試験方法等について消防庁長官が定める基準に適合するものをいいます。

安心して使用できるエアゾール式簡易消火具等

消防庁では、消火器具等を安心して使っていただくために、天ぷら油火災、ストーブ火災など、火災の種類に応じ、消火能力等について厳しい基準を設け、検査を実施しています。

この検査に合格したものは、「住宅用消火器」又は「エアゾール式簡易消火具」と呼ばれ、検定合格証票や鑑定合格証書が貼付されるとともに、有効に消火できる火災の種類が絵表示により示されています。皆さんが消火器等を選ぶ際の目安になることと思います。

ガス系の消火器具では天ぷら油火災は消せません

ガス系の消火器具は、酸素を一時的に遮断するものであり、ガスが無くなると再燃します。

天ぷら油火災を消すためには、油の温度を下げ、再燃しないようにする必要があり、強化液タイプの住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具が有効です。



花の町相原研修旅行 《伊豆修善寺：虹の郷》のご案内

会員の皆様におかれましてはご清栄のことと存じます。“相原を花で一杯に”活動の一環として第4回「花の町相原研修旅行」を企画致しました。**会員及び活動に関心のある皆様**に下記のとおりご案内致しますので、ご参加下さいます様お願い申し上げます。



- 1、日程 平成 18 年 4 月 10 日(月) ~ 日
- 2、集合 午前 7 : 00 に「円林寺」「中村バス停」「堺農協」の最寄りにそれぞれ集合して下さい。
- 3、交通手段 「読売旅行：町田営業所」のツアー大型バスの貸切りで相原発着です。
- 4、参加費用 お一人 金 6 , 0 0 0 円(交通費・お弁当代込み) 先着 40 名様迄
(ご注意：お申込み時に集金致します。尚キャンセルにつきましてはご返金できませんのでご了承下さい。)
- 5、コース予定 午前：700 相原出発 厚木 IC 沼津 IC 三島大社(しだれ桜・参拝) 修善寺 虹の郷(四季折々の花が楽しめるファリアガーデンにカナダ村・イギリス村・日本庭園・匠の村など一日お楽しみ下さい 12 : 00 ~ 15 : 30) - ひもの店(買い物 16 : 30 ~ 17 : 00) 相原到着(午後 7 : 3 0 頃)
下の申込書にご記入のうえ、参加費用を添え、花の町相原推進委員または、照井(陽田町会) tel 7 7 3 - 5 2 9 5 までお申込み下さい。最終締切 3 月 10 日(金)

ご存じでしたか相原駅西口に タクシー会社



再開発が進んでいる相原駅西口に、「東日本タクシー」が開設され、相原の皆さんに喜ばれるアクセスとして活動開始しております。オーナーは業界で永い経験を積む元橋の稲垣さんで、地元の地理は十分把握して安心です。電話番号は 792 - 7777 です。車種は小型で相原の幅員の狭い道でもこなせる強い味方です。基本料金は 5 7 0 円で、その後のメーター料金も 2 0 パーセントぐらい安い価格体系だそうです。皆さんのお宅へのお迎えは無料を原則としているそうです。2 4 時間営業なので重宝に利用できると思います。新しい地元企業の成長の為に大いに活用してください。

相原 J A O 会 (傘) 引き続き傘募集中
駅の東西に 1 ケ所づつ設置してから傘が不足しています。是非御協力ください。相原まちづくり相談所は担当者不在になりましたので隣の中島宣伝社様にてお預かりいたします。

消防団員募集をしています 一緒に相原を守りませんか

- 消防団は年齢・職種に関係なく、『地元相原を守る心意気を持った仲間』で活動しています。
- 18 歳以上で相原在住であれば、どなたでも入団できます。
- 下記団員までお気軽にお問い合わせください。
- 境坂下元橋 陽田仲町 中村 原 義浩 090-1425-8354
- 中相原丸山丸山団地 北島 隆 090-3206-5443
- 武蔵丘・大戸 城定 健一 090-8518-4654
- メールでもお気軽にお問い合わせください。
- machida54mf@yahoo.co.jp